

平成28年3月11日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 みやた りょうへい 宮田 亮平）は、平成28年3月11日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに199件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、10,691件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	199件 28都府県52市町村（区）	10,691件 47都道府県862市町村(区)

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	22	56	62	59	199
累 計	1,848	3,438	2,225	3,180	10,691

○種 別

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	1	55	40	4	10	1	5	3	49	30	0	1	199
累計	112	1,088	1,425	436	206	328	324	310	4,748	1,447	193	74	10,691

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	165	1	33	199
累 計	8,412	589	1,690	10,691

2. 主な事例

① 特産の石材を用いた地方鉄道施設

旧高畠^{たかはた}鉄道高畠^{たかはた}駅本屋及びプラットホームほか

山形県東置賜郡高畠町^{ひがしおきたま}

高畠鉄道は大正11年に営業開始、昭和49年に廃止された。当地域は高畠石と呼ばれる黄土色の凝灰岩^{ぎょうかい}の産地で、高畠駅の主要施設にこの高畠石が用いられた。昭和9年に建設された駅本屋は、外壁の柱型や、開口部に用いるアーチ積、屋上^{てすり}手摺などに洋風意匠を見せる。また床や天井には鉄筋コンクリートを用いた混構造で、地方における鉄筋コンクリート造の初期の事例としても価値が高い。変電所や自動車修繕庫等とあわせて登録する。



② 武家住宅の特色を良く示す住宅遺構

旧武居家住宅主屋^{たけい} 千葉県佐倉市

江戸後期に建てられた佐倉藩士の住宅。表向^{おもてむき}と生活空間を二列に分けた平面が特徴的。細い木柄の柱を一間毎に立てる古い形式で、それぞれの列に入口を設けて武家住宅の特色をよく示す。表向の割合が小さく、座敷には長押^{ながし}を付けないなど簡素な造りで、比較的小規模な藩士の住宅遺構として貴重。



提供：佐倉市教育委員会

③ 近代登山の歴史を伝える

西駒山荘石室^{いしむろ} 長野県伊那市^{しやうぎがしら}

中央アルプス・木曾駒ヶ岳の将棊頭山頂直下、標高2,685mに位置する山小屋。大正2年に中箕輪尋常高等小学校生徒がこの付近で多数遭難したことを受け、同4年に避難所として石室が建設された。外壁は石積みとし、隅部と東西辺各2箇所を柱状に突出させる。斜面地のため、西側は軒下近くまで地面で半地下状となる。小屋はトラス組。我が国の近代登山の歴史を伝える。



④ ^{れいめい}黎明期の本格的な国産工業化住宅

山崎家及び臼井家別荘（セキスイハウスA型）

長野県北佐久郡軽井沢町

セキスイハウスA型は、昭和35年に発表されたプレハブ住宅。軽量鉄骨にアルミサンドイッチパネルを取り付ける構法で作られ、居室と水まわりを備えた本格的な工業化住宅の国産第一号である。本住宅は、ほぼ完存するセキスイハウスA型としては国内唯一の遺構で、我が国の戦後住宅業界の一側面を語る。



⑤ 洋館を備え、赤瓦を葺いた酒蔵が建ち並ぶ町並み

旧広島県西条清酒醸造支場本館ほか 広島県東広島市

東広島市の西条地区は、良質の水が湧出したこと^{ゆうしゅつ}から、酒造業の町として発展した。昭和3年には県醸造支場が開設され、技術開発の拠点となった。洋館の本館を備え、醸造蔵は当域で最初期の鉄筋コンクリート造施設である。このほか、西条地区内の酒造会社施設をまとめて登録し、保護を図る。



⑥ 大正時代の土木技術を伝える上水道施設

旧桂ヶ谷貯水池堰堤 山口県山口市

水不足が深刻であった旧小郡町^{おごおり}が大正5年から計画を進め、同12年3月に竣工した上水道のための堰堤。上水に加え、灌漑^{かんがい}にも用いられた。大部分は石貼であるが、取水塔や堤体上部は煉瓦造^{れんが}として意匠にも配慮している。当時の水道技術の水準を伝え、また地域の水道史に欠かせない施設である。

